

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 20

今回は、当時の祝祭日をもとに当室の資料をご紹介します。

(書名の後の()内の数字は請求記号です。)

1. 紀元節などの祝祭日について。

『年中行事辞典』(R386 N64)

※ほかに「紀元節」「天長節」などのキーワードで検索端末をひいてみるのもよいと思います。また、祝祭日の一覧は当時の『朝日年鑑』などに出ています。

2. 陸軍・海軍記念日について。

『戦争と庶民 1』(210.7 Se73 1 開架)に写真があります。

また陸軍記念日については『アサヒグラフ 昭和12年1月1日—昭和12年6月30日』(051 A82 1937-1)に記念演習の様子があり、『少女倶楽部 第21巻第3号(昭和18年3月)』(051 Sh96 21-5)には説明があります。

また『日本軍隊用語集 続』(392.1 Te43 2 開架)にも説明があります。

海軍記念日については『少女倶楽部 第21巻第5号(昭和18年5月)』(051 Sh96 21-5)や『幼年倶楽部 第17巻5号(昭和17年5月)』(051 Y83 17-5)などに説明があり、『思い出の東京』(291 Mo77 開架大型)には写真が載っています。

3. 大詔奉戴日について。

『小学生新聞に見る戦時下の子どもたち 第3巻』(916 A38 3 開架大型)や

『昭和日本史 7』(210.7 Sh97 7 開架大型)に説明があります。

※なお『思い出の東京』(291 Mo77 開架大型)には海軍記念日と大詔奉戴日の様子の写真が載っています。

『日本軍隊用語集 続』(392.1 Te43 2 開架)には陸軍記念日と大詔奉戴日の項目があり、陸軍記念日の項目には紀元節などの祭日の説明もあります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・ ⑱

古本屋さんで本を買うと、前に持っていた人の書きこみやサインが入っていることがあります。案外に多いのが著者のサイン本です。せっかくサインをして進呈してくれたのに…、と思いますが、考えてみれば、当人が欲しくて買った本ではなく、もらった本だから愛着が無く、古本屋さんに行きやすいのでしょう。

著者のサインだけなら良いのですが、進呈先の名前が書かれたまま店頭に出るのは、チョット複雑です。古本屋さんでも、有名な著者のサイン本は値が張るので喜びますが、無名の著者のサインなどはイタズラ書き同様の扱いです。筆者の蔵書にも、著者から頂いたサイン本がありますが、古本屋で買ったサイン本もたくさんあります。以前書いた斉藤昌三氏などは、いちいち相手に対してのコメントを書きこんであり、どんな状況で贈呈したものか分かって興味があります。筆者の架蔵本は特に有名な人物のサイン本は少ないのですが、徳富蘇峰の殴り書きのような署名や東郷平八郎の丁寧な署名は、それぞれの人物の雰囲気が出て面白いものです。先だって阿川弘之氏の「山本五十六」を買いましたが、著者の署名と進呈先の名前があり、「ああ、この人ももらった本を売っちゃったんだ」と思いながら書棚に入れました。

署名ではありませんが、書き込みも場合によっては貴重な場合があります。著者が贈呈に際して誤植を訂正していたり、戦前の本だと伏字に書き込みをしたものがあります。作家が再版に備えて初版本に推敲を加えたものなど、貴重なものです。

今回の「もう一冊！」は、本は、中身ばかりでなく、こんな部分でも楽しめるという話でした。次回は今回の続きで蔵書印について書いてみます。

(午睡)

—図書室から—

新世紀が始まりました。政治も社会も波乱にとんだ幕開けです。外はまだまだ寒いですが、心暖かい毎日が送れますように…。

* 2月14日(水)～28日(水)まで休館いたします。

常設陳列室の陳列替え工事に併せ、図書室も蔵書点検作業のため閉室します。ご了承ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 20
2001年1月26日 発行
編集・発行 昭和館 図書室
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1